

平成23（2011）年4月15日

都内高等学校長各位
国際教育・英語科担当者各位

東京都国際教育研究協議会
会長 松本光正（公印省略）
（東京都立工芸高等学校長）

第31回英語弁論大会および第11回日本語弁論大会 東京都予選のご案内

来る8月18日（土）に、和歌山市で行われる第48回全国国際教育研究大会 和歌山大会第31回英語弁論大会および第11回日本語弁論大会の東京都予選を、下記の通り開催いたします。

多数の生徒が参加されますよう、貴校の生徒への周知をよろしくお願いいたします。

なお、東京都予選で第1位になった生徒は、関東ブロック大会に出場できます。関東ブロック選考で、ブロック代表に選ばれますと、8月18日の全国大会に出場できます。第2位以下の生徒は、補欠となります。

全国大会での優秀者には、外務大臣賞、文部科学大臣奨励賞、国際協力機構理事長賞、国際交流基金理事長賞、（財）日本国際協力センター理事長賞などが、授与されます。

記

- 1 日時： 平成23年6月11日（土） 午後13：30受付開始 14：00開会
- 2 会場： 東京都立六本木高等学校 視聴覚室
〒106-0032 港区六本木6-16-36
TEL 5411-7327 FAX 5411-7367
東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木」駅から徒歩10分
東京メトロ南北線「麻布十番」駅から徒歩10分
- 3 英語弁論大会予選規定：
 - ① 弁論内容…国際理解・国際交流・国際協力・国際ボランティア活動等に関するもの。演題は自由。高校生としての主張を含み、未発表原稿であること。
国際協力、国際交流などに関する生徒自身の体験（授業や部活動などで学んだことや主体的に調査研究した事柄も含む）を通じて考えたことや、地球環境や世界平和などに関して自分の考えを英語で弁論することが望ましい。在外経験や留学体験のある人は、その経験や感想だけでなく、自分の経験と諸問題などと関連させた弁論を行うことが望ましい。
 - ② 弁論時間…4分30秒以上5分以内（時間超過等は減点とする。）
 - ③ 審査内容…論旨（60点）・態度（20点）・音声（20点）を総合して審査する。
 - ④ 各校の出場枠は最大2名までとする。
 - ⑤ 全国大会出場者に選ばれた場合でも、その旅費、宿泊費等は、その学校で負担するものとする。
- 4 日本語弁論大会予選規定：
 - ① 弁論内容…国際理解、国際協力、異文化理解、多文化共生に関すること。演題は自由。
高校生としての主張を含み、未発表原稿であること。

単なる感想や異文化体験でなく、本人の体験を通して、態度や行動に変容があり、多文化共生のための国際相互理解を深める視点や地球的な視点で述べられている弁論が望ましい。

- ② 弁論時間…4分30秒以上5分以内（時間超過等は減点とする。）
- ③ 審査内容…論旨（60点）・態度（20点）・音声（20点）を総合して審査判断する。
- ④ 応募資格…留学生だけでなく、在日年数が5年以内の生徒も対象です。詳しくは事務局までご連絡ください。
- ⑤ 全国大会出場者に選ばれた場合でも、その旅費、宿泊費等は、その学校で負担するものとする。

5 参加申し込み：

- ① 必ずFAXで、5月27日（金）必着（厳守）、別紙申込書を以下へ提出してください。

6 弁論原稿と要旨の提出：

弁論原稿および要旨を、全国大会の規定にそってワードのファイルで作成し、6月3日（金）必着で、添付ファイルで下記のアドレス宛にお送りください。

<原稿の様式> ☆用紙 A4版 縦方向 1ページ 全角1600字以内
☆1行文字数 （日本語）全角40文字、（英語）半角80文字

7 申し込み・連絡先：

東京都立農業高等学校<英語科> 黒木恵理子 Email: kuroki@kokusaiken.org
〒183-0056 東京都府中市寿町1-10-2 FAX: 042-360-0642
※ お問い合わせは、極力、メールにてお願いいたします。

<参考>

昨年度全国大会 英語弁論大会 開催要項(抜粋)

- 1 目的 国際理解、国際交流、国際協力、国際ボランティア活動などに関する主張を英語で発表することにより、国際教育への興味・関心を高めると共に、国際感覚豊かな生徒の育成を目指す。
- 2 参加者 (1) 大会開催県代表1名 (2) 各地区代表 各1名
- 4 参加資格 (1) 各都道府県（高等学校）国際教育研究協議会加盟校の生徒
(2) 各都道府県・各ブロックにおける選考会を経て選出された生徒
- 5 表彰 外務大臣賞（1名） 文部科学大臣奨励賞（1名） 国際協力機構理事長賞（1名）
国際交流基金理事長賞（1名） 日本国際協力センター理事長賞（1名）等
- 6 審査員 外務省、文部科学省、国際協力機構、国際協力基金、日本国際協力センター等

昨年度全国大会 日本語弁論大会 開催要項(抜粋)

- 1 目的 日本で生活している留学生たちが感じた外国人からみた日本を率直に日本語で表現してもらうことにより、多文化共生のための国際相互理解を深めることを主な目的とする。
- 2 参加者 (1) 大会開催県代表1名 (2) 各地区代表 各1名
- 4 参加資格 (1) 各都道府県（高等学校）国際教育研究協議会加盟校に留学している生徒
(2) 各都道府県の会長が前項に準ずると認めた生徒
(3) 各都道府県・各ブロックにおける選考会を経て選出された生徒
- 5 表彰および審査委員 高校生英語弁論大会に準ずる